



「Creating Tomorrow Report (統合報告書) 2024」を発行しました。



太平洋工業グループは、パーパス、中長期経営構想、中期経営計画に沿って、統合思考で社の価値づくりをお伝えする「Creating Tomorrow Report (統合報告書) 2024」を発行いたしました。当報告書は、投資家や株主の皆様をはじめとし、当社の価値づくりの主役としての従業員など、ステークホルダーの皆様に、当社の価値づくりをよりご理解いただき、対話を実施し、信頼を醸成していくためのコミュニケーションツールと位置づけております。なお、ステークホルダーの皆様向けにサステナビリティ・マテリアリティ (重要課題) の取り組みの進捗を説明した別冊 (PDF) の「サステナビリティデータブック2024」も併せて開示しております。「Creating Tomorrow Report 2024」と「サステナビリティデータブック2024」は、当社Webサイトからご覧いただくことができます。

当社は、環境、社会、ガバナンス (ESG) について優れた取り組みを行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計された代表的なESG指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に2年連続で選定されました。本指数を含め、当社は世界最大規模の公的年金運用機関である年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が採用する国内株ESG指数6つのうち以下の5つで採用されました。



FTSE Blossom Japan Index

- ・FTSE Blossom Japan Index
- ・FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- ・MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- ・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- ・Morningstar 日本株式ジェンダーダイバーシティ・ティルト指数

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場、 名古屋証券取引所プレミアム市場
単元株式数	100株
証券コード	7250
公告の方法	当社のWebサイトに掲載いたします。 公告掲載URL https://www.pacific-ind.co.jp/koukoku/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、中部経済新聞および日本経済新聞に公告いたします。)

■ ご注意

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社で承ることとなっております。なお、証券会社等に口座がないために特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店にて承ります。

会社の概要

社名	太平洋工業株式会社 Pacific Industrial Co., Ltd.
設立	1930年8月8日
資本金	7,316百万円
事業内容	自動車部品、電子機器製品等の開発・製造 ならびに販売
ネットワーク	海外7カ国13社 国内8拠点4社

株主の皆様へ

第101期中間のご報告

2024年4月1日～2024年9月30日

思いをこめて、あしたをつくる
Passion in Creating Tomorrow



太平洋工業株式会社 証券コード：7250

Top Message

新しい価値をつくるために変わり続け 社会に必要とされる会社になります

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの主要事業分野の自動車関連業界におきましては、日本・米国における自動車生産の変動もあり前年同期比で減産となりました。このような中、当社グループでは、受注変動に合わせた生産活動および経費削減等を行ってまいりました。この結果、当中間連結会計期間の売上高は、販売物量の減少により、995億78百万円 (前年同期比3.0%減) となりました。利益面では、原価改善活動を継続的に推進しましたが、販売物量の減少や労務費および経費の増加により、営業利益は49億2百万円 (前年同期比34.6%減) となり、経常利益は、補助金収入の増加はあるものの、営業利益の減少に加え、円高による為替差損が大きくなり、64億73百万円 (前年同期比37.3%減) となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、53億28百万円 (前年同期比29.3%減) となりました。

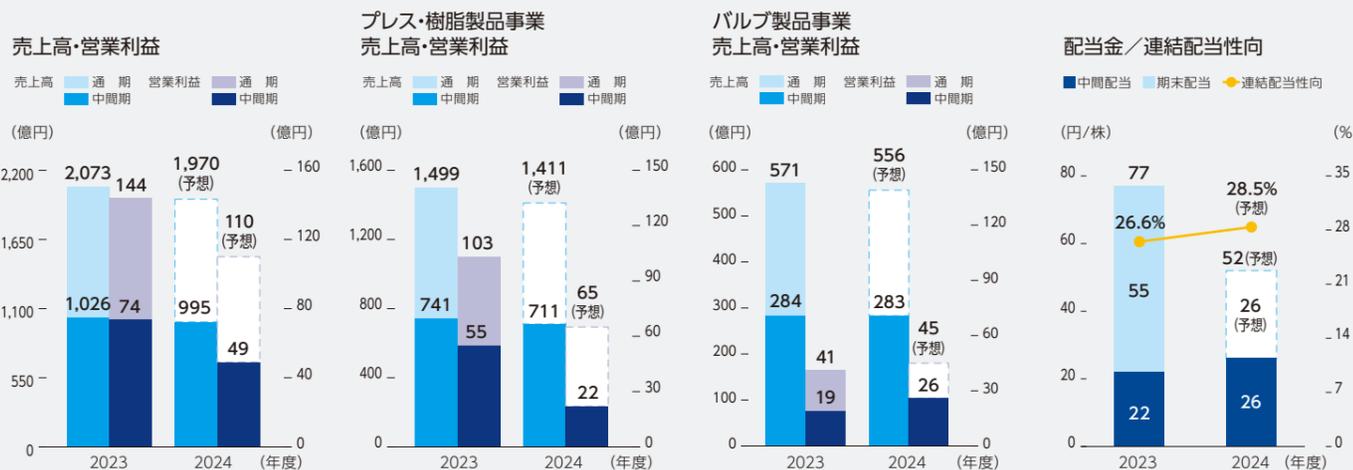
株主の皆様への利益還元につきましては、当中間配当金は1株につき26円、期末配当金も1株につき26円を予定し、年間で52円とさせていただきます。

2024年11月



代表取締役社長 小川哲史

連結中間業績ハイライト



PACIFIC 太平洋工業株式会社

〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町100番地
TEL 0584-91-1111 (大代表) FAX 0584-92-1804

発行日: 2024年11月22日



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC® 認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インクを使用しています。

既存事業の生産基盤・競争力の強化

01 東大垣工場 工機棟(金型工場)が完成へ

東大垣工場敷地内において建設中だった工機棟が完成し、11月の稼働開始に向けて準備を進めています。高速加工機やトライ用大型プレス機の導入で、金型製作能力・効率の向上を図るとともに、隣接地に建設中の開発センター(2025年7月稼働予定)と連携し、新工法・新加工技術開発を加速していきます。



POINT | 東大垣工場新工場ここがポイント

東大垣の新工場は、高効率な生産や、スマートファクトリーの構築、開発センターとの連携など、当社競争力の基盤を支えるグローバルマザー工場として稼働を開始し、技術・生産・改善ノウハウの国内外他拠点への横展開を図り、グループ全体での付加価値最大化を進めています。



AGVによる自動搬送を導入。



自社開発のデジタルツール導入によりラインの状態を見える化。



02 成長の柱の1つである 樹脂事業での改善活動推進

中長期経営構想で成長戦略と位置づける樹脂事業では、トヨタ生産方式自主研究会の活動として、ホイールキャップを中心とする改善プロジェクトを進めています。部署の枠を超えて取り組むことで新たな視点生まれ、リードタイムの短縮や生産性向上、原価低減などさまざまな切り口での改善成果が出ています。さらなる改善で生産基盤の強化と受注拡大につなげていきます。



ホイールの中心に取り付けられるホイールハブオーナメントの改善も実施しました。

03 北大垣工場 バルブ製品のグローバルマザー工場建設中



北大垣工場敷地内にて、電動車用熱マネジメントシステム向け各種バルブ製品を生産する新工場を建設しています。設備の高効率化や、太陽光発電システムなどの導入によるCO₂排出量の削減など、環境にも配慮しつつ事業拡大と競争力強化を図ります。(2025年3月稼働予定)

次なる成長へ! 新製品開発と拡販

01 エネルギー見える化システム「エネグラフ」

CO₂排出量削減やエネルギー費用高騰などの課題解決をサポートするため、当社製造現場での運用実績を活かし開発した、「エネグラフ」をリリースしました。「エネグラフ」は、安価で取り付けが簡単なエッジデバイスとクラウドによるエネルギー使用量の見える化サービスです。電気・ガス・エア・上水などの使用量を可視化し、改善点の抽出をサポートします。また、エネルギー使用量をCO₂排出量へ換算することもでき、さまざまな環境負荷やCO₂排出量の削減に貢献します。



02 防災マット「MATOMAT」自治体での採用拡大中

当社が岐阜県大垣市・大垣市教育委員会と連携して開発した防災マット「MATOMAT(マトマト)」が、同市内全19小学校にて採用されました。今後も自治体・自治会などを中心に防災用品としての普及と拡販をめざします。



MATOMATの詳細はこちら



人財活躍

多様な人財が働きやすい企業をめざして

01 「えるぼし」、 「プラチナくるみん」同時認定

当社の女性活躍推進や子育てサポートに関する継続的な取り組みが認められ、厚生労働大臣より、「えるぼし」(3段階目)^{※1}、「プラチナくるみん」^{※2}の同時認定を受け、岐阜労働局長より認定通知書が交付されました。今後も多様な働き方を選択できる職場環境づくりや、従業員の成長を支えるキャリア教育などを推進していきます。



※1 「えるぼし」(3段階目)は、女性活躍に関する取り組みが優良であることに加え、「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5つの基準全てを満たし、その実績を毎年公表している場合に認定されます。
 ※2 「プラチナくるみん」は、従業員の仕事と家庭の両立支援の取り組みが優良である「くるみん」認定企業のうち、さらに高い水準である場合に認定されます。